

番号	2-3-2	表題	焼却炉運転効率向上についての効果検証	
内容	<p>東京都下水道局は、2030年カーボンハーフ実現に向けて、地球温暖化対策とエネルギー対策とを一体的に推進し、脱炭素化に向けた取組の更なる加速・強化を図るため、令和5年3月に「アースプラン2023」を策定した。本計画では、汚泥処理施設間で汚泥量を最適に配分し、焼却炉の運転基数を減らし、電力使用量や燃料使用量を削減することにより、温室効果ガス排出量を削減するとしている。</p> <p>今回、令和5年度に実施したみやぎ水再生センター汚泥焼却設備補修工事に伴う全量送泥期間において、新河岸水再生センターでの焼却炉運転効率向上に関する効果検証を行ったので、報告する。</p>			
キーワード	カーボンハーフ 温室効果ガス削減 汚泥相互融通 運転効率向上			
処理区名	新河岸処理区	位置区分	水再生センター	
職種区分	設備	施策区分	効率化	
状態区分	維持管理	新規性		
実施年度	令和5年度	全体期間		
担当部署	部第二下水道事務所 新河岸水再生センター スラッジ管理担当			
発表履歴	局内	下水道設備研究発表会		
	局外			
調査方法	直営調査			
関連情報				